

2020 年度
年 次 報 告 書

一般社団法人日本臨床心理士会

東京都文京区本郷二丁目 27 番 8 号

目 次

I. 2020 年度 事業報告書

はじめに	1
1. 委員会活動報告	4
(1) 編集委員会	4
(2) 倫理委員会	4
(3) 医療保健領域委員会	5
(4) 産業・組織領域委員会	6
(5) 被害者支援委員会	6
(6) 教育領域委員会	7
(7) 私設心理相談領域委員会	8
(8) 児童福祉委員会	9
(9) 障害者福祉委員会	10
(10) 高齢者福祉委員会	10
(11) 司法矯正領域委員会	11
(12) 支援事業委員会	12
(13) 自死予防専門委員会	13
(14) アディクション専門委員会	13
(15) ひきこもり専門委員会	14
2. プロジェクトチーム活動報告	15
(1) 公認心理師制度対応プロジェクトチーム	15
(2) 災害支援プロジェクトチーム	16
(3) 研修企画検討プロジェクトチーム	17
3. 臨床心理講座・研修会開催状況	18
4. 電話相談事業	21
5. ひきこもりの家族支援事業	22
6. 雑誌、メールマガジンの発行	23
7. ホームページの利用状況	31
8. 行政機関、他団体・機関への委員・役員等の選出状況	33
9. 後援名義使用承認一覧表	34
10. 団体会員主催研修会等共催承認一覧	35
11. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項	37
(1) 代議員会	37
(2) 理事会	37
(3) 常任理事会	38

II. 2020 年度決算報告書

貸借対照表等決算書類	39
------------------	----

役員名簿	50
------------	----

代議員名簿	51
-------------	----

2020 年度事業報告書

はじめに

2020 年度は当初より新型コロナウイルス感染症への対応を含む活動となった。代議員会、役員会、研修会や各委員会の全てにおいて大きく影響を受ける状態が年度を通して続いたが、年度の後半になってオンラインによる諸活動が安定して運営できるようになった。

特に研修会についてはオンラインの活用により全国あるいは海外からの受講が可能になり、懸案であった遠隔地からの研修会参加の可能性を拡げることができた。

コロナの状況の中であったが、基本的には当会のこれまでの事業及び各委員会、プロジェクトチーム活動が継続された。

第4期2年目となる2020年度における当会事業を以下のとおり行ったことを報告する。

● 新型コロナウイルス感染症の拡がりを受けた活動

① 未経験の感染症蔓延への対応に関し情報収集を行い、心理臨床に関係する課題について感染症専門家の意見をまとめて会員に情報提供した。

② 会員の経済的あるいは法的取り組みへの支援として、公認会計士、弁護士より情報を得て周知に努めた。

③ 研修会に関しては年度前半に予定していたものはすべて中止したが、秋以降にオンラインによる技術的なめどをつけて、定例研修会及び臨床心理講座を実施し、18～19 ページに報告のとおり、参加者数延べ3千名余りの研修を各委員会の協力のもとに行った。ちなみに昨年度は定例研修会4,379名、臨床心理講座1,950名であった。なお参加費の引き下げも行った。

④ 代議員会は書面決議とし、理事会、常任理事会、各委員会はオンライン会議とした。

⑤ オンラインの活用を十分に行うための人員の増強の検討を始めた。

⑥ 新型コロナウイルス感染症関連の社会貢献活動として、一般社団法人日本公認心理師協会との連携のもとに、民間助成事業を受けて新型コロナこころの健康相談電話、および厚生労働省の要請を受けて「こころの健康統一ダイヤル」への参加を行った。両活動ともに2021年度に引き継ぐことになった。

● 臨床心理士をとりまく状況の変化への対応

① 当会は人々の心の健康の保持向上に寄与することを法人の目的とし、会員の資質と技能の向上、社会活動の支援など、臨床心理士の職能団体としての活動の一層の充実に取り組み、社会における臨床心理士の存在感のさらなる向上に努めてきた。

② 上記の方針に基づき、国の事業への協力にも取り組んだ（公認心理師全数調査への協力、自殺予防こころの健康統一ダイヤルへの協力、文部科学省の諮問による「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～中間まとめ～への意見の提出等）。

③ 団体会員のうち21団体が公認心理師関連の名称変更を行っているが、これらについても当会団体会員として、会長懇談会をオンライン実施し、情報提供等、これまで通りの連携協力を行った。なお団体会員へのオンラインによる研修講師の派遣について、各委員会に検討を依頼した。

● 社会の要請への対応

前年度に引き続き、以下のとおり社会の要請に対応した。

① チーム学校の考え方に基づくスクールカウンセラーのあり方等に関する研修や諸会議、発達障害支援に関する会議等に参画した。

② 学校での事件、事故への第三者委員会委員推薦依頼を受け、当該地域の団体会員と連携してこれに協力した。

③ チーム医療関連団体、福祉関連団体、経済産業関連団体等との連携・協力に取り組んだ。

④ 法務省人権相談への協力、最高裁判所の子の引渡しをめぐる依頼に対応した。

⑤ 自殺対策、ひきこもり対策、障害者福祉等さまざまな当事者団体との連携・協力を、委員会活動も含めて行った。

⑥ 海外への緊急スクールカウンセラー派遣に対応した。感染症関連の支援として他団体と連携して対応した。

⑦ 当会としての社会貢献活動として、電話相談、ひきこもり家族支援プログラムを実施した。

● 研修事業

前述のとおり、研修事業は新型コロナウイルス感染症の拡がりを受けて集合研修が行えない状況下での研修事業となった。

研修会毎のアンケート調査では遠隔地から参加しやすくなったことへの満足度が高かった。

また、オンラインによる研修内容への不満は見られなかった。当年度開催すれば5回目となるはずであった「臨床心理士」新規資格取得者基礎研修会については通例の開催は行われなかったが、ホームページでの当会の紹介と入会案内を発出した。

● 災害への備え

以下のとおり活動するとともに、前年度作成した災害時の心理支援のためのガイドラインを広報し、これに基づく研修会を行った。

① 前年度に引き続き災害支援ブロック活動の推進に努めた。

② 団体会員を通じ、災害時に活動する会員の災害医療研修への参加費を助成するとともに、研修修了者による活動グループの組織化を引き続き進めているが、コロナ禍の中、研修が中止となる状況もあった。

● 委員会等組織体制の継続

前年度に引き続き、15 委員会と 3 プロジェクトチームで活動を進めた。

なお、各委員会及びプロジェクトチームからの報告は4 ページ以降に記載のとおりである。

● 公認心理師制度への当会としての対応

① ホームページ、雑誌、メールマガジンを通じ、会員への諸情報の提供を継続した。

② 一般社団法人日本公認心理師協会との連携・協力関係を維持し、同協会との連携による電話相談を行っている。

● 事務局担当事業

最後に事務局担当事業について以下に報告する。

① 総務部、研修事業部、支援事業部の組織体制を継続し、常勤6名、非常勤3名で運営した。
なお、欠員となっている事務局員について、新規採用に向けて引き続き検討を行った。

② 会員への広報としてホームページを適宜更新するとともに、雑誌を2回発行し、メールマガ

ジンを11回配信した。

③ 臨床心理講座のWeb申込、研修会のWeb申込が順調に行われた。

④ 前年度に引き続き、約40名の相談員により定例電話相談を実施した。詳細は21ページに記載のとおりである。なおコロナ禍の中、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の間は受電を休止した。

⑤ 前年度に引き続き、支援事業委員会及びひきこもり専門委員会の協力を得て、ひきこもりの家族支援事業として、セミナー・相談会、グループセミナー等を予定したが、コロナ禍の中、実施を見送ったものもあった。詳細は22ページに記載のとおりである。

⑥ 行政、自治体等からの諸要請に対し、各委員会等との連携のもとに適宜対応した。

⑦ 東日本大震災関連で福島県教育委員会からの要請に応じて会議に参画した。

⑧ 委員会・プロジェクトチームの活動に関する事務局協力体制を敷き、引き続き多くの会議を事務局員がサポートした。

⑨ 役員会、委員会においてはほぼ全てWeb会議システムを活用した。

⑩ コロナの影響を受けて研修会のオンライン開催についてノウハウを獲得し、実施した。

⑪ 緊急事態宣言等を受けて、事務局業務のリモート活用等を行った。

【会員の動向】

2019 年度末会員数	21,193 名		
2020 年度入会者	770 名	退会者	483 名
2020 年度末会員数	21,480 名		

1. 委員会活動報告

(1) 編集委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	徳丸 享	1. 委員会を7回（5月24日、7月19日、8月23日、9月13日、11月29日、1月24日、2月12日）オンラインで開催した。 2. 89号を2020年7月31日に刊行し、8月初旬に会員等に発送した。 3. 90号を2021年1月31日に刊行し、2月初旬に会員等に発送した。 4. 特集及び社会のニーズと心理臨床の原稿執筆者に謝礼金を支払った。 5. 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、海外在住会員への郵送が困難となったため、対象会員のみがホームページ内で閲覧できる措置を講じた。
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	厚坊 浩史	
委 員	石塚 典子	
委 員	坂本 憲治	
委 員	増井 紀子	
協力委員	松浦 慶子	
事務局	角 充宏	

(2) 倫理委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	宇田川 一夫	1. 委員会を6回（5月30日、7月4日、9月26日、11月7日、1月9日、3月27日）オンラインで開催した。 2. 会員の倫理意識の向上のための啓発活動を行った。 (1) 年度初めは、全国都道府県団体会員から講師派遣依頼があったが、コロナ禍により中止せざるを得なかった。 (2) 倫理能力の向上と Web 上の活動の理解を深めるため、全国都道府県団体会員担当者研修会を12月19日にオンラインで開催した。 (3) 「心理臨床における職業倫理を学ぶ」をテーマに臨床心理講座を2月7日にオンラインで開催した。 3. 倫理をめぐる相談・苦情および倫理違反への対応を行った。 4. 内外組織と連携を図った。 (1) 他団体の倫理委員会と連携して対応した。 (2) 倫理問題で当会と他の委員会および他機関との連携を図った。 5. 倫理規程・綱領の改訂および倫理ガイドライン、対応指針の見直しを継続的に行った。
担当役員	奥村 茉莉子	
委 員	非公表	
事務局	水谷 孝之	
事務局	法眼 裕子	

(3) 医療保健領域委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	花村 温子	1. 委員会を4回（4月17日、7月10日、12月10日、1月22日）オンラインで開催した。普段からメーリングリストを活用し、情報共有、意見交換を行った。 2. 前期からの活動（チーム医療関連、自殺対策、診療報酬改定）を継続した。とくに、令和2年度の診療報酬改定の影響がどう出ているか、タスクシフト／シェアの問題について具体的に情報収集を行った。 3. 第27回医療保健領域研修会を9月22日と10月4日の2日間に分けてオンラインで開催した。 テーマ：変化する医療体制の中で活躍できる臨床心理士になるために 4. 全国都道府県団体会員担当者研修会は、今年度は「担当者会議」として2月28日にオンラインで開催した。 5. 「第5回医療領域で働く臨床心理士対象のウェブアンケート」の実施準備を行った。 6. 会員にとって有益な医療保健領域の情報を当会雑誌、ホームページを通じて発信した。 7. 「医療におけるコンサルテーション・リエゾン」をテーマに臨床心理講座を12月13日にオンラインで開催した。 8. COVID-19 関係で、他領域の専門家の協力を仰ぎ、心理臨床における注意点をまとめた動画の作成に協力した。
担当役員	津川 律子	
副委員長	梨谷 竜也	
副委員長	福田 由利	
委 員	相川 祐里	
委 員	河西 有奈	
委 員	高野 公輔	
委 員	野村 れいか	
協力委員	小林 清香	
協力委員	藤城 有美子	
事務局	水谷 孝之	

(4) 産業・組織領域委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	花村 温子	1. 委員会を 2 回（6 月 22、2 月 8 日）オンラインで開催した。他は、メーリングリストにより活発に意見交換を行った。 2. 第 19 回産業・組織領域研修会を 10 月 18 日にオンラインで開催した。 テーマ：働くことを支援する～アセスメントとコンサルテーション、弁護士との連携 3. 全国都道府県団体会員への講師派遣については、コロナ禍により実施を見合わせた。 4. 全国都道府県団体会員担当者研修会を 7 月 12 日にオンラインで開催した。 5. 東京経営者協会、「こころの耳」委員会等、関連団体への協力を行った。 6. 臨床心理士新規取得者のための基礎研修会はコロナ禍により中止となった。 7. 日本公認心理師協会主催のストレスチェック実施者研修会に協力予定であったが、今年度は開催されなかった。
担当役員	高田 晃	
副委員長	種市 康太郎	
委 員	有園 愛	
委 員	打和 登	
委 員	金山 麻李	
委 員	坂井 一史	
委 員	坊 隆史	
協力委員	馬ノ段 梨乃	
協力委員	島津 明人	
協力委員	三宅 美樹	
事務局	水谷 孝之	

(5) 被害者支援委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	高田 晃	1. 委員会を 5 回（4 月 26 日、6 月 30 日、10 月 17 日、11 月 24 日、1 月 30 日）オンラインで開催した。 2. 第 22 回被害者支援研修会を 10 月 24 日にオンラインで開催した。 テーマ：被害者支援と日常臨床 Part2 新型コロナ禍の今だからこそ、あらためて考えたい被害者支援と支援者支援 3. 全国都道府県団体会員担当者会議を 12 月 6 日にオンラインで開催した。
担当役員	花村 温子	
副委員長	西脇 喜恵子	
委 員	稲本 絵里	
委 員	窪田 由紀	
委 員	櫻井 鼓	
委 員	樋口 純一郎	
事務局	水谷 孝之	

(6) 教育領域委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	高田 晃	1. 委員会を4回（4月27日、9月3日、10月18日、1月30日）オンラインで開催した。 2. 学校臨床心理士ワーキンググループ活動に協力した。 7月26日の予定していた第25回学校臨床心理士全国研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、2月7日に延期することとしたが、最終的には次年度へ延期することとなった。なお、8月22日の全国コーディネータ会議のオンラインでの開催に協力した。 3. 第6回教育領域研修会を10月18日にオンラインで開催した。 テーマ：スクールカウンセラーが学校で実践しているコンサルテーションについて 4. 文部科学省からの依頼で、「令和の日本型学校教育の構築を目指して」中間まとめに対する意見書を提出した。 5 全国都道府県団体会員担当国会議を5月3日に「SC緊急情報交換会」としてオンラインで開催した。 6. 国外からの緊急支援要請に備え、派遣候補者名簿を作成した（3名登録）。 7. 日本公認心理師協会教育分野委員会が主催する2月23日のオンライン研修会の開催に協力した。 テーマ：WISC-IVの結果解釈から支援へーチーム学校・チーム医療での活用
担当役員	村上 雅彦	
副委員長	石川 悦子	
委 員	窪田 由紀	
委 員	高野 久美子	
委 員	中谷 敬明	
委 員	元永 拓郎	
事務局	水谷 孝之	

(7) 私設心理相談領域委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	村上 雅彦	1. 委員会を5回（4月5日、7月19日、9月6日、11月15日、12月18日）オンラインで開催した。 2. 第14回私設心理相談領域研修会を12月6日にオンラインで開催した。 テーマ：COVID-19 感染症禍における私設（開業）心理臨床の課題と可能性—私設相談室の生き残りを考える—」午前はシンポジウム、午後はグループディスカッションを行った。 3. 当会雑誌に寄稿した。 第89号：私設心理相談領域の発展について考える 第90号：私設心理（開業）領域のこれからの可能性～クライアントのニーズに沿って展開するサービス～ 4. 私設心理相談機関のガイドラインについて検討した。 5. 私設心理相談機関のネットワーク構築について検討した。 6. 私設心理相談機関開業のノウハウについて、講座を開くことを検討した。 7. 他領域との連携・協力について検討した。 8. 「臨床心理士のための新型コロナウイルス感染症に対する経済的支援施策についてQ&A」「臨床心理士のための新型コロナウイルス感染症に対する法的対応策についてQ&A」を作成し、ホームページに掲載した。また、ホームページの会員専用ページに情報交換のための掲示版を設置した。 9. 新型コロナウイルス感染症の影響について会員向けのWeb調査を実施した。
担当役員	津川 律子	
副委員長	岩倉 拓	
委 員	小林 菜穂美	
委 員	田中 究	
委 員	田中 ひな子	
委 員	人見 健太郎	
委 員	布柴 靖枝	
事務局	水谷 孝之	

(8) 児童福祉委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	高橋 幸市	1. 委員会を4回（5月31日、7月25日、11月8日、1月16日、）オンラインで開催した。 2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言を受け、児童福祉分野の臨床心理士の活動がどのような影響を受けているかを調査するために、8月1日から1か月の期間で会員向けのWeb調査を実施し、結果報告を当会雑誌90号に掲載した。 3. 第19回児童福祉専門研修会を1月13日にオンラインで開催した。 テーマ：家族理解を支援に活用する 4. 「子どもの生活施設における継続的な心理支援」テーマとして臨床心理講座を企画したが、講座がオンライン方式に変更されたことに伴い、開催日程が下半期に集中したためスケジュールが調整できず、次年度に持ち越した。 5. 全国都道府県団体会員担当者研修会を12月20日にオンラインで開催した。 6. 臨床心理士三団体子育て支援合同委員会に例年どおり参加協力した。 (1) 第16回子育て支援講座を2月28日にオンラインで開催した。 (2) 「子育て支援と心理臨床」第19巻、第20巻（福村書店刊）の編集発行に協力した。 7. 厚生労働省「健やか親子21」は、例年どおり参加した
担当役員	高田 晃	
副委員長	中垣 真通	
委 員	内海 新祐	
委 員	川野 由紀子	
委 員	武田 由	
委 員	八木 安理子	
協力委員	小林 規江	
事務局	水谷 孝之	

(9) 障害者福祉委員会

メンバー	氏 名	2019 年度活動報告
委員長	嘉嶋 領子	1. 委員会を4回（6月28日、8月28日、10月17日、3月6日）オンラインで開催したほか、メーリングリストで随時、意見交換を行った。 2. 第14回障害の理解と支援に関する総合研修会4回を7日間に分けてオンラインで開催した。 第1回：「発達臨床の「来し方行く末」「子どもの脳とこころを傷つけない子育てとは」（10月17日） 第2回：「発達障害支援のコツ」（10月25日）「明日から使える高次脳機能障害の知識」（11月3日） 第3回：「IFCを活用したボトムアップ型支援連携の実際から心理職の役割を考える」（11月7日）「神経心理学的理解とは」（12月12日） 第4回：「複雑性PTSDの臨床」（1月10日）「成人期の発達障害の臨床」（2月21日） 3. 日本障害者協議会（JD）の総会、政策委員会に参加、協力した。 4. 文部科学省「第16回特別支援教育ネットワーク推進委員会」に参加した。
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	小林 真理子	
委 員	武部 正明	
委 員	中津 大介	
委 員	山口 加代子	
協力委員	四ノ宮 美恵子	
協力委員	日戸 由刈	
協力委員	緑川 晶	
事務局	水谷 孝之	

(10) 高齢者福祉委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	香川 克	1. 委員会を3回（6月16日、9月30日、2月9日）オンラインで開催した。 2. コロナ禍の影響で定例研修会の開催方法が大幅に変更になり、第18回高齢者支援研修会を平日夜間の4日間に分けてオンラインで開催した。講師は委員が中心に担当した。 (1) 心理アセスメント（11月13日） (2) 多職種連携と支援（11月18日） (3) 「やってみよっか」と思い立たせる高齢者臨床研究（11月26日） (4) わたしの高齢者臨床《これまで》と《これから》（12月1日）
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	小野寺 敦志	
委 員	桑田 直弥	
委 員	沼田 悠梨子	
委 員	藤田 雄	
委 員	若松 直樹	
協力委員	扇澤 史子	
協力委員	大庭 輝	
事務局	水谷 孝之	

(11) 司法矯正領域委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	高橋 幸市	1. 委員会を6回（4月24日、6月5日、9月26日、11月28日（研修会時）、12月5日（研修会時）、3月7日）オンラインで開催した。 2. 定例研修会は集合研修が開催できなかったため、第11回司法矯正領域研修会を2日に分けてオンラインで開催した。「低年齢の非行の背景としての依存を考える」をテーマとし、依存の視点から司法矯正領域で活動する臨床心理士に知っておいて欲しい内容を取り上げた。 (1) 依存症の理解と対応～司法領域における児童思春期を対象に（11月28日：2時間） (2) ネット・ゲーム依存の理解と対応の実際（12月5日：3時間） 3. 薬物犯罪者の社会内処遇を進める啓発として、当会雑誌90号に「刑の一部の執行猶予制度と社会内処遇～薬物依存からの回復を地域で支えるために臨床心理士に期待されること～」を寄稿した。また、上記第11回司法矯正領域研修会の開催報告を雑誌91号に寄稿すべく準備中である。 4. 子の引渡しにかかる強制執行への協力が最高裁判所から求められ、会員に同事業の理解を進め広く協力を求めていく観点から、「子の引渡し強制執行に従事する臨床心理士のための支援ガイド」を作成し、当会ホームページの会員専用ページで公開した。 5. 講師派遣は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛を受け、実施できなかった。本領域の採用情報は、当会ホームページを通じて会員に周知した。
担当役員	徳丸 享	
副委員長	渡邊 悟	
委 員	大谷 治子	
委 員	町田 隆司	
委 員	山本 哲裕	
委 員	遊間 千秋	
委 員	吉田 里日	
協力委員	渡部 信吾	
事務局	水谷 孝之	

(12) 支援事業委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	奥村 茉莉子	1. 委員会を 7 回（4 月 23 日、5 月 25 日、7 月 16 日、9 月 16 日、11 月 2 日、1 月 28 日、3 月 30 日）オンラインで開催した。 2. ひきこもり家族支援セミナーは、コロナ禍のため実施できなかった。 3. ひきこもり家族グループは、十分な感染対策を講じ、対面で 1 回開催したが、秋以降は開催を見送った。
担当役員	徳丸 享	
委 員	井利 由利	
委 員	齋藤 ユリ	
委 員	水谷 孝之	
委 員	吉村 聡	
事務局	法眼 裕子	
		4. ひきこもり支援に関わる臨床心理士の集いでは、日本心理臨床学会第 39 回大会において自主シンポジウムが中止となったため、第 40 回大会での再申し込みを検討している。 5. 「ひきこもりの心理支援」をテーマとして、臨床心理講座を 3 月 14 日にオンラインで開催したが、SNS 相談の講座は開催できなかった。 6. 定例電話相談は 6 月から 12 月までは一人体制で実施したが、緊急事態宣言の間は休止した。さらに、自殺防止統一ダイヤルに協力参加した。 7. 東京コミュニティー財団の助成を受け、日本公認心理師協会との共同事業として「新型コロナこころの健康相談電話」を実施し、当初 8 月までの実施予定であったが、助成の延長により、2021 年 12 月まで延長することになった。 8. 厚生労働省「心の健康統一ダイヤル」の夜間対応として、当会電話相談員による相談受付や、当会団体会員への協力要請等により、日本公認心理師協会への協力を行った。 9. 支援事業のあり方に関する協議は、まとまった検討結果に至っていない。

(13) 自死予防専門委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	徳丸 享	1. 委員会を4回（4月12日、8月5日、11月20日、1月27日）オンラインで開催した。 2. 2020年9月の自殺予防週間に関しては、行政等からの情報をホームページにて発信した。 3. 自殺対策に関する各種会議に委員が参加し、自殺対策の動向について情報収集を行った。 4. 第7回自死予防研修会を10月17日にオンラインで開催した。 テーマ：ゲートキーパー研修のつくり方 5. 雑誌90号に上記研修会報告を寄稿した。
担当役員	高田 晃	
副委員長	勝又 陽太郎	
委 員	大塚 尚	
委 員	喜多見 学	
委 員	梨谷 竜也	
協力委員	高井 美智子	
協力委員	高橋 あすみ	
事務局	水谷 孝之	

(14) アディクション専門委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	信田 さよ子	1. 委員会を5回（6月7日、10月4日、12月19日、2月7日、3月7日）オンラインで開催した。 2. 第8回アディクション心理臨床研修会を3月7日にオンラインで開催した。 テーマ：基礎から学ぶアディクション～困難事例に対処するために～ 3. 当会雑誌に寄稿し、当会活動や関連書学会情報を記載することで会員への周知を心がけた。 4. ゲーム障害の臨床に関する講義を臨床心理講座で行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の関連で開催できなかった。 5. 日本アルコール関連問題学会や関東甲信越アルコール関連問題学会等との交流や協力を図った。 6. ギャンブル依存やゲーム障害をめぐる国内外の動向を把握し、情報収集に努めた。
担当役員	花村 温子	
副委員長	三原 聡子	
委 員	奥田 由子	
委 員	河西 有奈	
委 員	厚坊 浩史	
委 員	小西 友	
協力委員	平野 学	
事務局	水谷 孝之	

(15) ひきこもり専門委員会

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
委員長	平野 学	1. 委員会を5回（6月20日、9月21日、12月7日、1月11日、2月14日）オンラインで開催した。 2. 第6回ひきこもり研修会を2月14日にオンラインで開催した。 テーマ：ひきこもりの理解と支援—心理職、家族会、そして当事者の話から— 3. 臨床心理士資格新規取得者のためにホームページに委員会関連で資料を掲載した。 4. 「ひきこもりの心理的支援」をテーマに臨床心理講座を3月14日にオンラインで開催した。 5. 全国都道府県団体会員担当者との連携を図りつつ、担当者会議を1月11日にオンラインで開催した。事前アンケートや事後アンケートも取りつつ、その分析も行なった。 6. 会員や心理専門職向けのガイドが一層活用されるように工夫（ホームページへの掲載、QRコードの作成）するとともに、改訂作業も進めた。 7. 支援事業委員会に協力する形で、ひきこもり家族支援セミナーや相談会等に参加する予定であったが、コロナ禍ということもあり、全てとりやめになった。 8. 関係する様々な催しに積極的に参加しつつ、その報告等、メーリングリストで行なう形で、委員会内でシェアしあった。 9. 日本公認心理師協会をはじめ、関係する団体との連携を含め、さらに行なうべきと考えられることを模索した。 10. 上記諸事業をふまえ、当会雑誌に適宜寄稿し、会員等のこの領域への関心を高めるべく工夫した。
担当役員	村上 雅彦	
副委員長	境 泉洋	
委 員	齋藤 暢一朗	
委 員	竹中 哲夫	
委 員	板東 充彦	
委 員	邑口 紀子	
委 員	屋代 久美	
協力委員	野中 俊介	
事務局	水谷 孝之	

2. プロジェクトチーム活動報告

(1) 公認心理師制度対応プロジェクトチーム

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
代 表	野島 一彦	1. 会議を 6 回（4 月 25 日、6 月 19 日、8 月 23 日、10 月 31 日、12 月 18 日、2 月 19 日）オンラインで開催した。 2. 心理職が大同団結できるような職能集団として日本公認心理師協会をサポートした。また当会と日本公認心理師協会の連携のあり方について検討を続けた。 3. 臨床心理士と公認心理師の質の向上のために他団体との連携も視野に入れて生涯研修システムを構築するよう検討を続けた。 4. 臨床心理士と公認心理師の雇用を増やすような職域拡大について情報交換を行いながら検討を続けた。 5. 公認心理師の専門認定資格についてさらに情報収集を行い、他団体との連携も視野に入れて検討を続けた。 6. 政治連盟について、情報を収集しさらに検討を続けた。
担当役員	奥村 茉莉子	
副代表	平野 学	
委 員	内田 利広	
委 員	大御 均	
委 員	矢島 潤平	
協力委員	元永 拓郎	
事務局	水谷 孝之	

(2) 災害支援プロジェクトチーム

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
代 表	奥村 茉莉子	1. 会議を 4 回（5 月 17 日、6 月 29 日、9 月 12 日、11 月 12 日、2 月 4 日、3 月 18 日）オンラインで開催した。 医療保健領域委員会と教育領域委員会からの参加及び日本公認心理師協会災害支援委員会との合同会議とした。 2. ブロックの活動については一部情報を共有した。 なお、団体会員の情報交換会の要望があり、2021 年 5 月に計画する方向で検討している。北海道・東北ブロックはメーリングリストを作成した。 3. 国際医療技術財団（JIMTEF）の災害医療研修は、コロナ禍により中止されている。また、JIMTF 災害医療委員会も中止となった。 4. ブロック活動はまだ全体には行われていない。 5. スフィアガイドブック研修を 12 月 12 日に全国都道府県団体会員担当者、CPAT に加え、一般会員等の参加も得て、オンラインで開催した。 6. 災害のシミュレーション研修は取り組めなかった。 7. 記録様式の検討は未了となった。
担当役員	徳丸 享	
副代表	池田 美樹	
委 員	池 雅之	
委 員	小俣 和義	
委 員	富永 良喜	
委 員	中津 大介	
委 員	宮崎 圭子	
協力委員	今村 友木子	
協力委員	西田 泰子	
オブザーバー	小林 清香	
オブザーバー	中谷 敬明	
事務局	水谷 孝之	

(3) 研修企画検討プロジェクトチーム

メンバー	氏 名	2020 年度活動報告
代 表	鶴 光代	1. コロナ環境下の研修の課題に沿って、会議を6回（6月7日、7月12日、8月30日、11月4日、12月22日、2月11日）オンラインで開催した。 2. 定例研修会や臨床心理講座、全国都道府県団体会員担当者研修会における研修会名称や内容の重複等の検討を行った。本年度はコロナ禍にあり、研修会の延期・中止を余儀なくされ、幅広い研修機会の整備は不十分となった。 3. 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、会員や国民から要請されている心理臨床援助のテーマとして、Web 研修開催の技術的検討や Web 研修のあり方等を検討した。 4. スーパービジョン仲介の見直しとそのシステムの再検討は行えなかった。 5. 本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域間の移動が制限されたため、地方での当会主催研修会の開催や団体会員等との共催については検討できなかった。 6. Web 実践検討ワーキンググループを関連委員会、事務局等からの協力を得て10月に立ち上げた。 ①オンライン研修のあり方及び②心理臨床のオンライン実践上の課題をテーマとして、「Web 研修アンケート」を実施するなどの活動を通して検討した。本WGの活動報告を当会雑誌90号に寄稿した。また、1月には、「Web 実践検討ワーキンググループ報告：オンライン心理臨床における課題」をまとめ、当会ホームページの会員専用ページで公開した。
担当役員	奥村 茉莉子	
委 員	伊藤 良子	
委 員	乾 吉佑	
委 員	花村 温子	
委 員	藤澤 美穂	
委 員	宮崎 昭	
事務局	館盛 雅裕	

3. 臨床心理講座・研修会開催状況

○新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・昨年度末に開催を予定していた6つの臨床心理講座をすべて中止することとし、その後、今年度に入っても開催できる見込みが立たず、開催可能な状況に至るまで臨床心理講座の開催は見合わせることにした。
- ・例年どおり10月に東京ビッグサイトで、2月に大阪科学技術センターで開催を予定していた定例研修会を中止するとともに、研修会ごとにオンラインにて開催することとし、改めて日程を調整の上、開催することとした。
- ・研修会開催の予定が立った段階で、昨年度末に開催を予定していた臨床心理講座を優先的に年末から年度末にかけてオンラインで開催することとした。

(1) 臨床心理講座開催状況

日 程	講 座	講 師	参加者
12月13日(日)	医療におけるコンサルテーション・リエゾン	小林清香、高野公輔	46
1月16日(土)	発達障害・愛着障害・ゲーム依存の理解と支援(2)	高山恵子	190
1月31日(日)	カルト問題と心理臨床(12)	平野 学、他1名	90
2月7日(日)	心理臨床における職業倫理を学ぶ	大林裕司	63
3月14日(日)	ひきこもりの心理的支援	境 泉洋、竹中哲夫、 板東充彦	188
3月20日(土・祝)	メールカウンセリングの理論と実践	宮崎圭子	94
3月21日(日)	事例から学ぶ「子どもの精神分析的心理療法」入門	小笠原 貴史	172
合 計 7 講 座			843 名

(2) 研修会開催状況

①研修会

日 程	研 修 会	参加者
9 月 22 日 (火・祝)	第 27 回医療保健領域研修会	83
10 月 4 日 (日)		
10 月 17 日 (土)	第 7 回自死予防研修会	84
10 月 17 日 (土)	第 14 回障害の理解と支援に関する総合研修会 (1)	271
10 月 18 日 (日)	第 6 回教育領域研修会	81
10 月 18 日 (日)	第 19 回産業・組織心理臨床研修会	82
10 月 24 日 (土)	第 22 回被害者支援研修会	84
10 月 25 日 (日)	第 14 回障害の理解と支援に関する総合研修会 (2)	266
11 月 3 日 (火・祝)		
11 月 7 日 (土)	第 14 回障害の理解と支援に関する総合研修会 (3)	233
12 月 12 日 (土)		
11 月 13 日 (金)	第 18 回高齢者支援研修会	88
11 月 18 日 (水)		
11 月 26 日 (木)		
12 月 1 日 (火)		
11 月 28 日 (土)	第 11 回司法矯正領域研修会	243
12 月 5 日 (土)		
12 月 6 日 (日)	第 14 回私設心理相談領域研修会	49
1 月 10 日 (日)	第 14 回障害の理解と支援に関する総合研修会 (4)	251
2 月 21 日 (日)		
2 月 13 日 (土)	第 19 回児童福祉専門研修会	168
2 月 14 日 (日)	第 6 回ひきこもり研修会	152
3 月 7 日 (日)	第 8 回アディクション心理臨床研修会	185
	合計 15 研修会	2,320 名

②団体会員担当国会議・研修会等（全てオンライン開催）

会議・研修会名	日 程	参加者
教育領域担当国会議	2020 年 5 月 3 日	43
産業・組織領域担当者研修会	2020 年 7 月 12 日	46
第 7 回全国都道府県団体会員会長懇談会	2020 年 11 月 1 日	45
被害者支援担当国会議	2020 年 12 月 6 日	45
災害支援担当者研修会	2020 年 12 月 12 日	114
倫理担当者研修会	2020 年 12 月 19 日	44
児童福祉担当者研修会	2020 年 12 月 20 日	45
ひきこもり担当国会議	2021 年 1 月 11 日	46
医療保健領域担当国会議	2021 年 2 月 28 日	45

4. 電話相談事業

○ 定例電話相談

【実施日時】

午前（9：00～12：00）：金曜日

夜間（19：00～21：00）：月曜日～金曜日

【月別受電件数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
午 前	4	—	21	22	16	24	
夜 間	16	—	82	75	57	71	
計	20	0	103	97	73	95	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	2020 年度計
午 前	33	25	21	—	—	—	166
夜 間	77	61	65	14	—	—	518
計	110	86	86	14	0	0	684
						月平均	57

【参考】2019 年度 2,004 件（月平均：167 件）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020 年 4 月は、1 人体制で 3 日開設（午前 1 日、夜間 3 日）し、4 月 7 日の緊急事態宣言発出を受け、4 月 6 日より 5 月 31 日まで閉室した。

6 月以降も再び 1 人体制で開設し、2021 年 1 月 7 日の 2 度目の緊急事態宣言を受け、以降年度末まで閉室することとなった。

5. ひきこもりの家族支援事業

(1) ひきこもりの家族支援セミナー・相談会

例年どおり2回程度開催する計画であったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催を見合わせる事となった。

(2) ひきこもり家族グループ

昨年度は、隔月に計6回開催しており、今年度も同様の計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、下記の1回の開催にとどまった。

① 第1回

開催日：2020年9月28日（月）

会 場：当会会議室

次 第：

14：00～14：30 ミニ・レクチャー 講師：徳丸 享（副会長・立正大学）

14：30～16：00 グループ懇談

参加者：3名（3家族）

6. 雑誌、メールマガジンの発行

(1) 雑誌

号数	発行日	主要掲載記事
89号	2020年7月31日	巻頭言「未曾有の事態の中で」 役員会報告 第4期前期第4回～第7回理事会、第4期第2回（定時）代議員会 緊急特集—新型コロナウイルス感染症への対応 緊急特集にあたって 臨床心理士のための新型コロナウイルス感染症への対応 「感染症下における子どもの安心・安全を高めるために」について 新型コロナこころの健康相談電話 「スクールカウンセラー緊急情報交換会」をWeb開催して 【資料】日本臨床心理士会から文部科学省への提言 公認心理師制度をめぐる最近の状況 【資料】臨床心理士のための経済的支援Q&A 特集—SNSと心理支援 特集にあたって SNSカウンセリングの実際 SNSと依存、SNSのリテラシー教育 諸領域の動向と諸課題の取り組み 倫理委員会：守秘義務と情報共有 医療保健領域委員会：チーム医療の一員としての臨床心理士（14） 産業・組織領域委員会：産業・組織領域の心理職のあり方をめぐって 教育領域委員会：スクールカウンセラーの行うコンサルテーション 私設心理相談領域委員会：私設心理相談領域の発展について考える 児童福祉委員会：乳児院・児童養護施設における心理臨床の実践 障害者福祉委員会：発達障害・高次脳機能障害者の支援の最前線 高齢者福祉委員会：高齢者臨床に神経心理学の裏付けを 司法矯正領域委員会：子の引渡しの強制執行について 自死予防専門委員会：パンデミックと自死予防 アディクション専門委員会：これだけは知っておきたいアディクション臨床の基礎 ひきこもり対策専門委員会：ひきこもり専門委員会からの連絡と関係情報 東西南北—47都道府県団体会員めぐり 岩手県臨床心理士会/福井県公認心理師・臨床心理士協会 記録・案内 役員会記録/委員会開催状況/団体会員一覧/編集後記

号数	発行日	主要掲載記事
90 号	2021 年 1 月 31 日	巻頭言「感染症下の心理支援と職能団体の役割」 役員会報告 第 4 期前期第 8 回理事会、全国都道府県団体会員会長懇談会報告 特集—コロナ禍における心理支援の視点と工夫 特集にあたって 大きな変化が求められる状況の中で「働く」を考え、支援する ガイド作成による心理社会的支援の展開 社会のニーズと心理臨床 加害者家族のケアと人権 犯罪加害者家族支援 公認心理師制度関連情報 公認心理師制度をめぐる現況 公認心理師法第 42 条の運用に関する連携の考え方 諸領域の動向と諸課題の取り組み 医療保健領域委員会：大きく変化する医療提供のあり方に対応できる臨床心理士を目指して 産業・組織領域委員会：職場におけるパワーハラスメント対策の義務化について 被害者支援委員会：被害者支援と日常臨床とのつながりを考える 教育領域委員会：スクールカウンセラーによる学校に役立つコンサルテーションの理論と実践 私設心理相談領域委員会：私設心理相談領域のこれからの可能性 児童福祉委員会：新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査の結果報告 障害者福祉委員会：発達障害と高次脳機能障害に関する知見と支援の工夫 高齢者福祉委員会：コロナ禍での高齢者支援を行うために 司法矯正領域委員会：刑の一部の執行猶予制度と社会内処遇 自死予防専門委員会：自殺予防ゲートキーパー研修のつくり方 ひきこもり対策専門委員会：ひきこもりをめぐる最近の動向、そして研修会について 研修企画検討プロジェクトチーム：Web 実践検討ワーキンググループの活動について 三団体合同の活動 学校臨床心理士担当理事・コーディネーター全国連絡会議報告 臨床心理士三団体子育て支援合同委員会の活動から 東西南北—47 都道府県団体会員めぐり 長野県公認心理師・臨床心理士協会/和歌山県臨床心理士会 記録・案内 役員会記録/委員会開催状況/団体会員一覧/編集後記

(2) メールマガジン

No.	発行日	主要掲載記事
34	2020 年 4 月 28 日	1. 当会からのお知らせ 「臨床心理士のための新型コロナウイルス感染症への対応」(動画) のホームページへの掲載、「新型コロナこころの健康相談電話」の緊急開設、「新型コロナ情報交換掲示板」の会員専用ページへの緊急開設、新型コロナウイルスに関する状況調査(チーム医療推進協議会)への協力、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 「臨床心理講座」の開催見合わせ、「臨床心理士新規取得者のための基礎研修会」の開催中止 3. トピックス 「新型コロナ関連情報リンク集(2020 年 4 月 28 日更新版)」(日本公認心理師協会)、「新型コロナウイルス感染症対策関連の情報(e-Gov 電子政府の総合窓口)」、「【首相官邸】生活と雇用を守るための支援策のページ」、「【内閣府】新型コロナウイルス感染症緊急経済対策、NHK 新型コロナ特設サイト「こんなときはどんな支援制度が?」、学生相談において遠隔相談を導入する際の留意点 4. 公認心理師制度関連 日本公認心理師協会: 入会金無料期間について、公認心理師実習指導者研修会(検討会)の Web 開催、公式 Facebook の公開 厚生労働省: 「公認心理師」ページ

No.	発行日	主要掲載記事
35	2020年5月15日	1. 当会からのお知らせ 「臨床心理士のための新型コロナウイルス感染症に対する経済的支援策について Q&A（公認会計士編）の公開、「新型コロナこころの健康相談電話」開設期間の延長、「臨床心理士のための新型コロナウイルス感染症への対応」（動画）、厚生労働省：新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年5月4日）、「新型コロナ情報交換掲示板」の会員専用ページへの緊急開設、当会の求人情報掲示板、【事務局より①】新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う日本臨床心理士総合補償制度（任意加入）の改正点のお知らせ、【事務局より②】臨床心理士資格非更新の場合の当会への退会届の提出 2. 研修情報等 「臨床心理講座」の当分の間の開催見合わせ、オンライン研修会の実施に向けた検討準備中 3. トピックス 「新型コロナ関連情報リンク集（2020年5月15日更新版）」（日本公認心理師協会）、内閣府「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」、臨床心理マガジン iNEXT（No.4） 4. 公認心理師制度関連 日本公認心理師協会のホームページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ
36	2020年8月3日	1. 当会からのお知らせ 「児童福祉領域における新型コロナ COVID-19 の影響に関する会員アンケート調査」（児童福祉委員会）の実施、「新型コロナこころの健康相談電話」8月以降の継続、第3回新型コロナウイルスに関する状況調査（チーム医療推進協議会）への協力、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板、【事務局より】退会手続きについて 2. 研修情報等 「臨床心理講座」「定例研修会」について（オンライン研修の実施予定） 3. トピックス 法務省保護局：LINE スタンプ配信についてのお知らせ 4. 公認心理師制度関連 日本公認心理師協会のホームページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ

No.	発行日	主要掲載記事
37	2020年8月24日	1. 当会からのお知らせ 「児童福祉領域における新型コロナ COVID-19 の影響に関する会員アンケート調査」(児童福祉委員会) 実施中、自死予防専門委員会からのお知らせ：自殺予防週間(9月10日～16日)、「新型コロナこころの健康相談電話」8月以降の継続、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 2020年度臨床心理講座開講のお知らせ、オンライン研修会の実施予定 3. トピックス 第12回「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム(オンライン会議)資料(厚生労働省 08/06) 4. 公認心理師制度関連 日本公認心理師協会：公認心理師全数調査の実施、日本心理研修センター：「公認心理師の活動状況に関する調査ページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ
38	2020年9月23日	1. 当会からのお知らせ 新規入会者向け動画配信のお知らせ、「新型コロナこころの健康相談電話」12月まで継続、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 2020年度定例研修会・臨床心理講座のオンライン開催について 3. トピックス 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連した地域社会の子どもたちへのマスク使用に関するアドバイス(Unicef) 4. 公認心理師制度関連 厚生労働省の障害者総合福祉推進事業「公認心理師の活動状況等に関する調査」の実施、日本心理研修センター：「公認心理師の活動状況に関する調査ページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ

No.	発行日	主要掲載記事
39	2020 年 10 月 16 日	1. 当会からのお知らせ （公財）日本臨床心理士資格認定協会からの新型コロナウイルス感染防止状態における臨床心理士資格更新に係る教育研修機会等に関するお知らせ、外国語対応電話相談に関するアンケートへの協力をお願い、「会計・税務相談制度」の開始、「新型コロナこころの健康相談電話」12 月まで継続、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 定例研修会・臨床心理講座のオンライン開催について、チーム医療推進協議会令和 2（2020）年度研修会開催のご案内 3. トピックス 日本心理臨床学会 2020 年度第 39 回大会（Web 開催） 4. 公認心理師制度関連 厚生労働省の障害者総合福祉推進事業「公認心理師の活動状況等に関する調査」の回答締め切りまで 1 カ月を切る、日本心理研修センター：「公認心理師の活動状況に関する調査ページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ
40	2020 年 11 月 16 日	1. 当会からのお知らせ 「会計・税務相談制度」の活用、「新型コロナこころの健康相談電話」12 月まで継続、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 定例研修会・臨床心理講座のオンライン開催について、国立青少年教育振興機構：第 37 回全国青少年相談研究集会、日本発達障害ネットワーク（JDDnet）：2020 年度人材育成研修会（前期・後期）、日本公認心理師協会：基礎研修会「少年非行に関する基礎知識」 3. トピックス 日本心理臨床学会 2020 年度第 39 回大会（Web 開催） 4. 公認心理師制度関連 厚生労働省の障害者総合福祉推進事業「公認心理師の活動状況等に関する調査」の回答締切延長のお知らせ、日本心理研修センター：「公認心理師の活動状況に関する調査ページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ

No.	発行日	主要掲載記事
41	2020 年 12 月 18 日	1. 当会からのお知らせ 「会計・税務相談制度」の利用期間延長、図書販売特設サイト利用のご案内、「新型コロナこころの健康相談電話」2021 年 3 月末まで延長、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 定例研修会・臨床心理講座のオンライン開催について、日本公認心理師協会：アディクション臨床研修会、高次脳機能障害支援のための神経心理アセスメント研修会、国立青少年教育振興機構：第 37 回全国青少年相談研究集会、日本発達障害ネットワーク（JDDnet）：2020 年度人材育成研修会（前期・後期）、国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・紫煙センター主催 Web セミナー「発達障害×外国にルーツをもつ子どもたち」 3. トピックス 国際障害者デー（12 月 3 日）に寄せるアントニオ・グテーレス国連事務総長メッセージ（国際広報センター12/03） 4. 公認心理師制度関連 日本公認心理師協会・日本心理研修センターの各ホームページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ
42	2021 年 1 月 15 日	会長からの会員向けメッセージ 1. 当会からのお知らせ 「会計・税務相談制度」の利用期間延長、図書販売特設サイト利用のご案内、「新型コロナこころの健康相談電話」2021 年 6 月末まで延長、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 定例研修会・臨床心理講座のオンライン開催について、日本公認心理師協会：大人の発達障害のアセスメントと支援、チーム医療推進協議会：2020 年度チーム医療推進学会の開催・演題募集について、国立青少年教育振興機構：第 37 回全国青少年相談研究集会、日本発達障害ネットワーク（JDDnet）：2020 年度人材育成研修会（前期・後期）、 3. トピックス 令和 3 年度障害福祉サービス等報酬改定の基本的な方向性について（厚生労働省 12/11） 4. 公認心理師制度関連 日本公認心理師協会・日本心理研修センターの各ホームページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ

No.	発行日	主要掲載記事
43	2021 年 2 月 18 日	1. 当会からのお知らせ 「私設心理相談領域における新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査」の実施、「会計・税務相談制度」の利用期間延長、図書販売特設サイト利用のご案内、「新型コロナこころの健康相談電話」2021 年 6 月末まで延長、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 定例研修会・臨床心理講座のオンライン開催について、日本公認心理師協会：オンライン第 1 回市民講座（2/20）、チーム医療推進協議会：2020 年度チーム医療推進学会 3. 公認心理師制度関連 日本公認心理師協会・日本心理研修センターの各ホームページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ
44	2021 年 3 月 19 日	1. 当会からのお知らせ 司法矯正領域委員会作成「子の引渡し強制執行」に関する臨床心理士のための支援ガイド」の会員専用ページへの掲載について、「会計・税務相談制度」の継続について、図書販売特設サイト利用のご案内、「新型コロナこころの健康相談電話」2021 年 6 月末まで延長、「新型コロナ情報交換掲示板」の活用、当会の求人情報掲示板 2. 研修情報等 定例研修会・臨床心理講座のオンライン開催について、日本公認心理師協会：第 1 回市民講座オンデマンド見逃し配信、日本発達障害ネットワーク（JDDnet）：発達障害支援人材育成研修会 2021 3. トピックス 厚生労働省：令和 2 年度自殺対策強化月間の主な取組みについて 4. 公認心理師制度関連 日本公認心理師協会のホームページ・公式 Twitter・公式 Facebook、日本心理研修センターのホームページ、厚生労働省の「公認心理師」ページ

7. ホームページの利用状況

(1) 会員個人専用ページ（MYページ）利用状況

ウェブ登録会員活用者

19,093 名（前年比 1,168 名増加）

(2) 『臨床心理士に出会うには』都道府県別掲載件数

整理 番号	都道府県	掲載件数	整理 番号	都道府県	掲載件数
1	北海道	11	25	滋賀	2
2	青森	0	26	京都	23
3	岩手	2	27	大阪	50
4	宮城	2	28	兵庫	32
5	秋田	1	29	奈良	10
6	山形	2	30	和歌山	2
7	福島	4	31	鳥取	0
8	茨城	4	32	島根	2
9	栃木	4	33	岡山	7
10	群馬	5	34	広島	14
11	埼玉	33	35	山口	5
12	千葉	12	36	徳島	3
13	東京	158	37	香川	3
14	神奈川	51	38	愛媛	2
15	山梨	3	39	高知	1
16	長野	5	40	福岡	18
17	新潟	4	41	佐賀	1
18	富山	2	42	長崎	2
19	石川	3	43	熊本	3
20	福井	1	44	大分	2
21	岐阜	5	45	宮崎	0
22	静岡	14	46	鹿児島	3
23	愛知	26	47	沖縄	1
24	三重	1	48	その他	5
				掲載件数	544

(3) ホームページ求人情報掲載状況

(2020年4月～2021年3月掲載)

領 域	機関の種類	機関数
保健医療	病院・診療所	148
	精神保健福祉センター・保健所・保健センター	13
	保健医療関係その他	3
福 祉	児童福祉施設・機関（児童相談所を含む）	37
	障害者福祉施設・機関	9
	女性福祉施設・機関	6
	福祉関係その他	12
教 育	公立教育相談機関・教育委員会	24
	幼稚園・小学校・中学校・高校・予備校	8
	各自治体から派遣 S C	4
	教育関係その他	3
大学 研究所	専門学校・短大・大学等（主に教育・研究）	13
	専門学校・短大・大学等（主に相談業務）	43
	研究所・研究機関	1
司法法務 警察 防衛	法務省（矯正保護）関係機関	0
	司法法務警察関係	6
	自衛隊	7
産業労働	独立の健康管理・相談所	2
	産業労働関係	10
私設心理相談	民間心理相談機関	10
	民間心理相談機関その他	6
その他	その他(被災地支援含む)	4
	合 計	369

8. 行政機関、他団体・機関への委員・役員等の選出状況

(1) 行政機関

府 省	組 織	役職等
法 務 省	「社会を明るくする運動」中央推進委員会	委 員
文部科学省	いじめ防止対策協議会	委 員
	不登校に関する調査研究協力者会議	委 員
	特別支援教育ネットワーク推進委員会	構成員
厚生労働省	健やか親子21（第2次）推進協議会	参画団体
	児童虐待防止対策協議会	構成団体
	【委託事業】「こころの耳」委員会 (受託者：社団法人産業カウンセラー協会)	委 員
警 察 庁	子供の性被害撲滅対策推進協議会	構成員
東 京 都	自殺総合対策東京会議 計画策定部会	委 員
福 島 県	子どもの心のサポートチーム協議会	構成員
大 田 区	大田区自殺総合対策協議会	委 員

(2) 他団体・機関

団 体・機 関		役職等
一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDDnet）		代議員
	多職種連携委員会	理 事
特定非営利活動法人日本障害者協議会（JD）		委 員
	政策委員会	正会員
公益社団法人全国精神保健福祉連合会（みんなネット）		会 員
チーム医療推進協議会（事務局：公益社団法人日本理学療法士協会）		代議員
		理 事
被災者健康支援連絡協議会（事務局：公益社団法人日本医師会）		構成団体
医療関連職種団体協議会（公益財団法人国際医療技術財団）		構成団体
医療技術者団体協議会		構成団体
公益財団法人日本精神神経学会	多職種協働委員会	委 員
	災害支援委員会	委 員
特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会		賛助会員
一般社団法人東京経営者協会		相談担当者
		セミナー講師
公認心理師制度推進連盟		会員団体
	理事選出団体	理 事
臨床心理士関係三団体（公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会・一般社団法人日本心理臨床学会・当会）	学校臨床心理士ワーキンググループ	委 員
	子育て支援合同委員会	委 員

9. 後援名義使用承認一覧表

※受理順に記載

No.	主催団体等	日程・名称・テーマ
1	法務省保護局更生保護振興課	2020 年中 第 70 回社会を明るくする運動「保護観察官による更生保護出張講座」
2	第 20 回認知療法・認知行動療法学会	2020. 11. 21～23 第 20 回認知療法・認知行動療法学会
3	第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会	2020. 11. 27～29 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会
4	日本描画テスト・描画療法学会運営委員会	2020. 11. 28～29 日本描画テスト・描画療法学会第 30 回大会
5	全国クレサラ・生活再建問題対策協議会	2020. 9. 20～21 第 40 回全国クレサラ生活再建問題被害者交流集会 in 大阪
6	認定 NPO 法人乳房健康研究会	2020. 11. 3 認定 NPO 法人乳房健康研究 20 周年・昭和大学病院プレストセンター10 周年 Global Conference on Breast Health
7	公益社団法人全国被害者支援ネットワーク	2020. 10. 16 全国犯罪被害者支援フォーラム 2020
8	特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構	2020. 9. 19～20 リカバリー全国フォーラム 2020
9	第 20 回日本外来精神医療学会	2020. 10. 24～25 第 20 回日本外来精神医療学会
10	第 28 回日本産業ストレス学会	2020. 12. 4～5 第 28 回日本産業ストレス学会
11	一般社団法人日本発達障害ネットワーク	2020. 11. 26、12. 17、2021. 1. 7、1. 26、2. 17、3. 10 発達障害支援人材育成研修会 2020【前期】【後期】共催
12	日本集団精神療法学会	2021. 3. 20～21 第 28 回日本集団精神療法学会第 38 回学術大会
13	公益財団法人日本精神衛生会	2021. 3. 6 メンタルヘルスの集い（第 35 回日本精神保健会議）
14	第 23 回日本医療マネジメント学会学術総会	2021. 6. 25～26 第 23 回日本医療マネジメント学会学術総会
15	一般社団法人日本小児神経学会	2021. 3. 7 第 15 回プライマリケア医（小児科医、総合診療）のための子どもの心の診療セミナー
16	公益財団法人こころのバリアフリー研究会	2021. 6. 4～5 第 7 回公益財団法人こころのバリアフリー研究会総会
17	公益社団法人日本理学療法士協会	2021. 5. 29～30 第 55 回日本理学療法学術研修大会 2020in おおいた
18	大阪府臨床心理士会	2021. 7. 4 大阪府臨床心理士会第 4 回公開講座
19	一般社団法人日本摂食障害協会	2021. 6. 6 世界摂食障害アクションデイ 2021

10. 団体会員主催研修会等共催承認一覧

※受理順に記載

No.	団体会員	日程・名称
1	静岡県公認心理師協会	2020. 4. 12 医療・保健領域研修
2	群馬県公認心理師協会	2020. 7. 26 令和 2 年度 基礎研修会
3	沖縄県公認心理師協会	2020. 5～2. 21. 3 継続型研修会（全 19 回）
4	栃木県公認心理師協会	2020. 8. 8 2020 年度第 1 回学校臨床心理士研修会
5	茨城県公認心理師協会	2020. 8. 30 第 1 回スクールカウンセラー専門部会全体研修会
6	(社) 千葉県公認心理師協会	2020. 9. 22 9 月事例検討セミナー
7		2020. 10. 18 心理臨床基礎研修会
8		2020. 11. 8 11 月事例検討セミナー
9		2020. 12. 13 教育領域事例検討会
10		2021. 2. 28 令和 2 年度研修セミナー
11	静岡県公認心理師協会	2020. 11. 29 基礎研修
12	(社) 東京公認心理師協会	2020. 11. 8 スクールカウンセラー研修会
13	茨城県公認心理師協会	2020. 11. 29 秋期研修会
14		2020. 12. 13 第 2 回スクールカウンセラー専門部会全体研修会
15	(社) 千葉県公認心理師協会	2021. 1. 24 医療領域研修会
16	沖縄県公認心理師協会	2021. 1. 31 第 2 回特別研修会①
17	(社) 東京公認心理師協会	2021. 1. 24、1. 31 障害者の権利擁護と支援
18		2021. 2. 14 SC 研修会（入門ケース）
19		2021. 2. 21 精神疾患の親をもつ子どもへの支援
20		2021. 2. 28、3. 7 多様性を学ぶーLGBT の基本的理解と心理支援ー
21		2021. 3. 14 新型コロナウイルス感染症によりこころの影響と、日常臨床の取組を考える

No.	団体会員	日程・名称
22	沖縄県公認心理師協会	2021. 2. 7 第 2 回特別研修会②
23	埼玉県公認心理師協会	2021. 2. 28 産業・組織部会研修会
24	茨城県公認心理師協会	2021. 3. 21 第 3 回スクールカウンセラー専門部会全体研修会

11. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項

(1) 代議員会

① 第4期第2回（定時）代議員会

1. 日 時：2020年6月14日（日）午後1時30分～1時50分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室
3. 議 案：

第1号議案 2019年度事業報告並びに同決算報告（案）承認の件

本代議員会の開催、運営については、5月10日に開催された第4期前期第6回理事会において審議した結果、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、代議員の健康、安全を最優先として会場に参集することなく、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第51条に定める書面による議決権行使により議案を審議することが決議された。

代議員総数90名のうち、開催当日は、会長、副会長1名（議長）、専務理事、監事1名の計4名が出席し、残る86名は書面により議決権行使がなされた。

なお、議案に対する代議員からの質問等の申し出はなく、出席者の承認者数に議決権行使書の承認者数を加え、賛成多数をもって承認された。

(2) 理事会

① 第4期前期第6回理事会

1. 日 時：2020年5月6日（日）午後1時30分～4時05分
2. 場 所：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議システムにより開催
3. 議 案：

第1号議案 2019年度事業報告（案）承認の件

第2号議案 2019年度決算報告（案）承認の件

第3号議案 第4期第2回（定時）代議員会招集並びに議長選任の件

第4号議案 アディクション対策専門委員会の名称変更の件

③ 第4期前期第7回理事会

1. 日 時：2020年6月14日（日）午後3時00分～5時30分
2. 場 所：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議システムにより開催
3. 議 案：

第1号議案 倫理委員会案件の再々処遇案承認の件

第2号議案 事務局職員の退職に伴う後任人事の件

④ 第4期前期第8回理事会

1. 日 時：2020年8月16日（月・祝）午後1時30分～4時15分
2. 場 所：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 （一社）日本心理臨床学会から示された「公認心理師法第42条の運用に関する連携の考え方」の修正案承認の件

⑤ 第4期前期第9回理事会

1. 日 時：2021年3月20日（土・祝）午後1時00分～3時00分
2. 場 所：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 2021年度事業計画（案）承認の件
第2号議案 2021年度収支予算（案）承認の件
第3号議案 第4期後期委員会・プロジェクトチームの組織編制の件
第4号議案 第4期後期理事及び監事候補者選出の選挙管理委員選任の件
第5号議案 事務局長の退職に伴う後任人事の件

上記のとおり開催し、すべての議案が承認された。

（3）常任理事会

※すべてWeb会議システムにより開催

- ① 第4期前期第6回常任理事会：2020年4月24日（金）午後7時00分～9時50分
- ② 第4期前期第7回常任理事会：2020年5月22日（金）午後6時00分～9時00分
- ③ 第4期前期第8回常任理事会：2020年7月11日（土）午後6時30分～9時00分
- ④ 第4期前期第9回常任理事会：2020年8月1日（土）午後6時30分～9時10分
- ⑤ 第4期前期第10回常任理事会：2020年10月5日（月）午後6時00分～8時20分
- ⑥ 第4期前期第11回常任理事会：2020年12月27日（日）午後3時00分～6時10分
- ⑦ 第4期前期第12回常任理事会：2021年1月17日（日）午後3時30分から6時00分
- ⑧ 第4期前期第13回常任理事会：2021年3月3日（日）午後7時00分から10時15分

2020 年度決算報告書

貸 借 対 照 表

正味財産増減計算書

財 産 目 録

収 支 計 算 書

貸 借 対 照 表

2021年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現 金	206,184	158,705	47,479
普通預金	102,972,572	52,316,083	50,656,489
定期預金	102,000,000	102,000,000	0
郵便振替貯金	35,411,325	35,919,489	△508,164
現金預金合計	240,590,081	190,394,277	50,195,804
流動資産合計	240,590,081	190,394,277	50,195,804
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	6,331,000	7,207,000	△876,000
選挙関係引当金積立資産	7,000,000	3,500,000	3,500,000
建物付属施設準備資産	50,000,000	50,000,000	0
特別災害時支援引当資産	23,000,000	18,000,000	5,000,000
特定資産合計	86,331,000	78,707,000	7,624,000
(2) その他固定資産			
建物付属設備	5,250,000	5,250,000	0
建物減価償却累計額	△2,462,250	△2,110,500	△351,750
器具備品	20,524,780	19,545,780	979,000
器具備品減価償却累計額	△12,177,274	△9,044,529	△3,132,745
敷金	8,982,400	8,982,400	0
その他固定資産合計	20,117,656	22,623,151	△2,505,495
固定資産合計	106,448,656	101,330,151	5,118,505
資産合計	347,038,737	291,724,428	55,314,309
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
預り金	498,618	489,474	9,144
流動負債合計	498,618	489,474	9,144
負債合計	498,618	489,474	9,144
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	346,540,119 (86,331,000)	291,234,954 (78,707,000)	55,305,165 (7,624,000)
正味財産合計	346,540,119	291,234,954	55,305,165
負債 及び 正味財産合計	347,038,737	291,724,428	55,314,309

正味財産増減計算書

2020年04月01日から 2021年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	175,092,000	168,572,100	6,519,900
受取会費計	175,092,000	168,572,100	6,519,900
研修会事業収益			
研修会事業収益	7,096,000	27,780,000	△20,684,000
研修会事業収益計	7,096,000	27,780,000	△20,684,000
臨床心理講座事業収益			
臨床心理講座収益	2,373,000	10,617,000	△8,244,000
臨床心理講座事業収益計	2,373,000	10,617,000	△8,244,000
検索システム収益			
検索システム収益	1,639,000	1,427,176	211,824
検索システム収益計	1,639,000	1,427,176	211,824
雑収益			
雑収益	4,339,156	4,488,716	△149,560
雑収益計	4,339,156	4,488,716	△149,560
経常収益計	190,539,156	212,884,992	△22,345,836
(2) 経常費用			
事業費			
刊行費	11,837,496	18,885,072	△7,047,576
委員会活動費	687,345	8,629,598	△7,942,253
会議費	386,733	777,128	△390,395
広報・渉外費	2,284,928	2,938,407	△653,479
システム管理費	1,574,652	2,278,515	△703,863
研修会運営費	3,066,149	25,433,828	△22,367,679
電話相談事業	2,214,167	4,681,885	△2,467,718
臨床心理講座運営費	635,498	3,465,234	△2,829,736
臨床心理士賠償責任保険関係費	23,221,778	23,775,032	△553,254
事業費計	45,908,746	90,864,699	△44,955,953
管理費			
常任理事会	681,813	1,223,884	△542,071
理事会	883,062	2,537,826	△1,654,764
代議員会	220,580	2,651,640	△2,431,060
団体会員会	382,678	2,551,824	△2,169,146
事務局会議	55,728	83,844	△28,116
事務委託費	830,451	835,275	△4,824
施設費	20,013,046	20,082,745	△69,699
人件費	51,992,845	47,090,941	4,901,904
通信費	5,191,587	5,255,099	△63,512
印刷費	3,337,891	3,527,512	△189,621
消耗品費	62,025	110,948	△48,923
備品費	265,335	55,312	210,023
図書費	13,750	15,027	△1,277
購読料	36,233	36,188	45
雑費	15,426	57,532	△42,106
選挙関係費支出	0	12,957,250	△12,957,250
租税公課	1,858,300	505,700	1,352,600
建物設備減価償却費	351,750	351,750	0
器具備品減価償却費	3,132,745	1,904,182	1,228,563
管理費計	89,325,245	101,834,479	△12,509,234
経常費用計	135,233,991	192,699,178	△57,465,187
評価損益等調整前当期経常増減額	55,305,165	20,185,814	35,119,351
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	55,305,165	20,185,814	35,119,351

正味財産増減計算書

2020年04月01日から 2021年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	55,305,165	20,185,814	35,119,351
当期一般正味財産増減額	55,305,165	20,185,814	35,119,351
一般正味財産期首残高	291,234,954	271,049,140	20,185,814
一般正味財産期末残高	346,540,119	291,234,954	55,305,165
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	346,540,119	291,234,954	55,305,165

財 産 目 録

2021年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産) 現金預金	現 金	手元保管	運転資金とし	206,184	
				普通預金	102,972,572
	定期預金	みずほ銀行 本郷支店	11,956,219		
		ジャパンネット銀行	91,016,353		
		ジャパンネット銀行	102,000,000		
	郵便振替貯金	ゆうちょ銀行	100,000,000		
		東京貯金事務センター	2,000,000		
		通常貯金	35,411,325		
	現金預金合計			527,044	
流動資産合計				240,590,081	
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	みずほ銀行		6,331,000	
	選挙関係引当金積立資産	同上		7,000,000	
	建物付属施設準備資産	同上		50,000,000	
	特別災害時支援引当資産	同上		23,000,000	
	特定資産合計				86,331,000
	その他固定資産	建物付属設備			5,250,000
		建物減価償却累計額			△2,462,250
		器具備品			20,524,780
		器具備品減価償却累計額			△12,177,274
		敷金			8,982,400
その他固定資産合計				20,117,656	
固定資産合計				106,448,656	
資産合計				347,038,737	
(流動負債)	預り金			498,618	
	税預り金・所得税			135,462	
	税預り金・謝礼分			212,156	
	税預り金・地方税			151,000	
	流動負債合計			498,618	
負債合計				498,618	
正味財産				346,540,119	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

この財務諸表は、当年度から「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)に準拠し作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物、器具備品は定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
退職給付引当資産	7,207,000	1,618,800	2,494,800	6,331,000
選挙関係引当資産	3,500,000	3,500,000	0	7,000,000
建物付属施設準備資産	50,000,000	0	0	50,000,000
特別災害時支援引当資産	18,000,000	5,000,000	0	23,000,000
合 計	78,707,000	10,118,800	2,494,800	86,331,000

2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物付属施設備	5,250,000	2,462,250	2,787,750
什器備品	20,524,780	12,177,274	8,347,506
合 計	25,774,780	14,639,524	11,135,256

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金明細

退職給付引当金及び選挙関係引当金の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

収 支 計 算 書

2020年04月01日から 2021年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 会費収入				
会費収入	168,000,000	175,092,000	△7,092,000	
会費収入計	168,000,000	175,092,000	△7,092,000	
(2) 研修会事業収入				
研修会事業収入	20,000,000	7,096,000	12,904,000	
研修会事業収入計	20,000,000	7,096,000	12,904,000	
(3) 臨床心理講座事業収入				
臨床心理講座収入	11,500,000	2,373,000	9,127,000	
臨床心理講座事業収入計	11,500,000	2,373,000	9,127,000	
(4) 検索システム収入				
検索システム収入	1,500,000	1,639,000	△139,000	
検索システム収入計	1,500,000	1,639,000	△139,000	
(5) 雑収入				
雑収入	4,000,000	4,339,156	△339,156	
雑収入計	4,000,000	4,339,156	△339,156	
事業活動収入計	205,000,000	190,539,156	14,460,844	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
刊行費支出	19,300,000	11,837,496	7,462,504	
委員会活動費支出	19,225,000	687,345	18,537,655	
会議費支出	3,000,000	386,733	2,613,267	
広報・渉外費支出	7,000,000	2,284,928	4,715,072	
システム管理費支出	5,000,000	1,574,652	3,425,348	
研修会運営費支出	20,400,000	3,066,149	17,333,851	
電話相談事業費支出	5,300,000	2,214,167	3,085,833	
臨床心理講座費支出	5,400,000	635,498	4,764,502	
臨床心理士賠償責任保険関係費支出	25,000,000	23,221,778	1,778,222	
事業費支出計	109,625,000	45,908,746	63,716,254	
(2) 管理費支出				
会議費支出				
常任理事会支出	1,700,000	681,813	1,018,187	
理事会支出	2,800,000	883,062	1,916,938	
代議員会支出	3,000,000	220,580	2,779,420	
団体会員会支出	3,000,000	382,678	2,617,322	
事務局会議支出	150,000	55,728	94,272	
会議費支出計	10,650,000	2,223,861	8,426,139	
事務費支出				
事務委託費支出	1,000,000	830,451	169,549	
施設費支出	20,000,000	20,013,046	△13,046	
人件費支出	53,000,000	51,992,845	1,007,155	
通信費支出	5,000,000	5,191,587	△191,587	
印刷費支出	3,500,000	3,337,891	162,109	
消耗品費支出	150,000	62,025	87,975	
備品費支出	500,000	265,335	234,665	
図書費支出	30,000	13,750	16,250	
購読料支出	50,000	36,233	13,767	
雑支出	200,000	15,426	184,574	
事務費支出計	83,430,000	81,758,589	1,671,411	
租税公課支出				
租税公課支出	3,000,000	1,858,300	1,141,700	
租税公課支出計	3,000,000	1,858,300	1,141,700	
管理費支出計	97,080,000	85,840,750	11,239,250	
事業活動支出計	206,705,000	131,749,496	74,955,504	

収 支 計 算 書

2020年04月01日から 2021年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
事業活動収支差額	△1,705,000	58,789,660	△60,494,660	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	0	2,494,800	△2,494,800	
特定資産取崩収入計	0	2,494,800	△2,494,800	
投資活動収入計	0	2,494,800	△2,494,800	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	1,000,000	1,618,800	△618,800	
選挙関係引当金繰入支出	3,500,000	3,500,000	0	
特別災害時支援引当金繰入支出	0	5,000,000	△5,000,000	
特定資産取得支出計	4,500,000	10,118,800	△5,618,800	
(2) 固定資産取得支出				
器具備品購入支出	1,000,000	979,000	21,000	
固定資産取得支出計	1,000,000	979,000	21,000	
投資活動支出計	5,500,000	11,097,800	△5,597,800	
投資活動収支差額	△5,500,000	△8,603,000	3,103,000	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	0	—	0	
当期収支差額	△7,205,000	50,186,660	△57,391,660	
前期繰越収支差額	189,904,803	189,904,803	0	
次期繰越収支差額	182,699,803	240,091,463	△57,391,660	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、仮払金、未払金、前受会費、預り金を含めている。

なお、前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰り越し収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	190,394,277	240,590,081
合 計	190,394,277	240,590,081
仮受金	0	0
預り金	489,474	498,618
合 計	489,474	498,618
次期繰越収支差額	189,904,803	240,091,463

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本臨床心理士会

会 長 津川 律子 様

一般社団法人日本臨床心理士会定款第25条第1項(5)並びに第40条第1項の規定に基づき、2020年度の事業報告及び決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

2021年4月28日

一般社団法人日本臨床心理士会

監事

片岡 玲子 

監事

江口 昌克 

一般社団法人日本臨床心理士会 第4期前期 役員名簿

(役職別、五十音順)

会 長	津川 律子	日本大学文理学部心理学科
副 会 長	高橋 幸市	心理支援オフィス緑蔭舎
副 会 長	徳丸 享	立正大学
専務理事	奥村 茉莉子	事務局長
常務理事	高田 晃	宇部フロンティア大学
常務理事	花村 温子	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
常務理事	村上 雅彦	広島ファミリールーム
理 事	伊藤 良子	帝塚山学院大学大学院
理 事	乾 吉佑	多摩心理臨床研究室
理 事	岩倉 拓	あざみ野心理オフィス
理 事	宇田川 一夫	東北福祉大学
理 事	香川 克	京都文教大学
理 事	嘉嶋 領子	かしまえりこ心理室
理 事	鶴 光代	東京福祉大学
理 事	野島 一彦	跡見学園女子大学
理 事	信田 さよ子	原宿カウンセリングセンター
理 事	馬場 禮子	中野臨床心理研究室
理 事	人見 健太郎	みとカウンセリングルームどんぐり
理 事	平野 学	平野カウンセリングオフィス
理 事	妙木 浩之	東京国際大学
理 事	吉村 聡	上智大学
監 事	江口 昌克	静岡大学
監 事	片岡 玲子	立正大学心理臨床センター

(2021年3月31日現在)

一般社団法人日本臨床心理士会 第4期 代議員名簿

00	全国区	岩壁 茂		15	山 梨	吉川 眞理	
00	全国区	岡田 康伸		16	長 野	野川 貴史	
00	全国区	岡本 祐子		17	新 潟	小林 勇	
00	全国区	葛西 真記子		18	富 山	中塩 真巳	
00	全国区	川畑 直人		19	石 川	原田 克巳	
00	全国区	窪田 由紀		20	福 井	岡本 克己	
00	全国区	倉光 修		21	岐 阜	鈴木 壯	
00	全国区	黒田 美保		22	静 岡	平岡 篤武	
00	全国区	田中 康雄		23	愛 知	川瀬 正裕	
00	全国区	種市 康太郎				高橋 昇	
00	全国区	富永 良喜		24	三 重	森川 泉	
00	全国区	野村 れいか		25	滋 賀	野田 正人	
00	全国区	平井 正三		26	京 都	香川 克	(理事)
00	全国区	深津 千賀子				小林 哲郎	
00	全国区	福島 哲夫		27	大 阪	加藤 敬	
1	北海道	平野 直己				吉川 征延	
2	青 森	関谷 道夫		28	兵 庫	馬殿 禮子	
3	岩 手	織田 信男				樋口 純一郎	
4	宮 城	宇田川 一夫	(理事)	29	奈 良	川上 範夫	
5	秋 田	佐々木 亮次		30	和歌山	上野 和久	
6	山 形	大御 均		31	鳥 取	菊池 義人	
7	福 島	渡部 純夫		32	島 根	土江 正司	
8	茨 城	金丸 隆太		33	岡 山	進賀 友一	
9	栃 木	小林 真理子		34	広 島	村上 雅彦	(理事)
10	群 馬	猶原 宗雄		35	山 口	高田 晃	(理事)
11	埼 玉	枝久保 達夫		36	徳 島	小倉 正義	
		花村 温子	(理事)	37	香 川	豊島 佳津子	
12	千 葉	齋藤 由美		38	愛 媛	福岡 康馬	
		飛田野 剛		39	高 知	池 雅之	
13	東 京	柴田 恵津子		40	福 岡	奇 恵英	
		滝口 俊子				吉岡 和子	
		徳丸 享	(理事)	41	佐 賀	高橋 幸市	(理事)
		中村 留貴子		42	長 崎	吉田 直樹	
		馬場 禮子	(理事)	43	熊 本	江崎 百美子	
		宮田 葉子		44	大 分	西村 薫	
14	神奈川	岩倉 拓	(理事)	45	宮 崎	矢島 順	
		加藤 志ほ子		46	鹿児島	山喜 高秀	
		谷口 幸一		47	沖 縄	宮城 聡	